盛岡信用金庫

中期経営計画
2026年4月～2029年3月

『情熱大陸』作戦Ⅲ

～人財力で未来を創る、地域と共に歩む経営～

理事長メッセージ

盛岡信用金庫

私が2018年に理事長に就任してから、一貫して不良債権処理に努め、2度にわたって損失計上を決断しました。また、現中計「～サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦～『情熱大陸』作戦Ⅱ」（第2ステージ）を策定し、様々な改革に挑戦して参りました。

この3年間においては、コロナ禍が収束し、日本銀行による利上げが行われ、より複雑さが増した地政学リスクの顕在化、また、為替相場の変動等が、当金庫と取引先である中小企業に多大な影響を与えています。当金庫は、経営理念である、「共存同栄」の精神のもと、持続可能な地域経済を目指し、地域の取引先支援に全力で取り組んでおりますが、多様化する環境の中で、新たに様々な課題が発生しております。

職員の皆さんにおかれましては、さらなる個の成長と活躍が必要であります。私が、理事長就任以来言い続けております、企業風土改革、いわゆる先送り体質、前例踏襲体質、自分本位の体質、スピードに欠ける体質、人材育成を軽視する体質等、改革すべき企業風土は、まだ道半ばであります。これを達成するには、強い意志と情熱が欠かせません。達成するには、達成するまでやり続けることが重要です。よって情熱大陸作戦は、第3ステージへと進めて参ります。

新中計の重点戦略としては、人的資本経営の実施による全職員が活躍できる職場の整備、金利のある世界における適正利益の確保やDXによる生産性・効率性の向上へ向けての取り組み、さらには地域密着型コンサルティングの実施による、「共存同栄」の実現を目指して参ります。

人口減少や高齢化、自然災害等、地域経済を取り巻く環境が変化しており、私たちは、それらの変化に対応できる体質に変わる必要があります。そのためには、自己資本の充実と不良債権比率の低減が必要です。創業123年である今年を起点とし、今後3年間さらなる飛躍を図るため、経営改革と地域経済の発展に向けて、役職員の皆さんが情熱を持って業務を行うことにより、当金庫のみならず、地域経済のさらなる発展と、それにより役職員が安心して働く環境の整備が可能となりますので、全力で取り組んで参りましょう。

当金庫を取り巻く環境

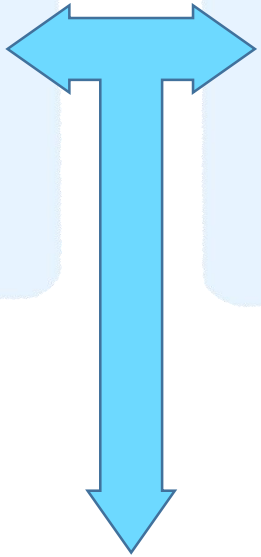
盛岡信用金庫

○外部環境

・「金利のある世界」への回帰
・少子高齢化や地域人口の減少
・物価高や人手不足による人件費上昇
・AI等デジタル変革
・自然災害の頻発
・地政学リスク、為替リスクの高まり

○内部環境

・企業風土改革
・持続的な人的基盤の確立
・多様な分野でのDXの促進
・金利上昇への対応
・お客さま支援の高度化
・マネロン、サイバー攻撃への対応



不確実性の増加

変化への対応力

持続性と柔軟性を備えた組織体制

お客さまに”より高度な価値”の提供のため、「人財力」「組織力」の向上を！

『情熱大陸』作戦Ⅲ全体像

盛岡信用金庫

経営ビジョン

①将来にわたる盛岡信用金庫の存続と発展（組織風土プロセスの視点）
②職員の声を反映した働きがいのある職場（風土・文化の視点）
③お客さま満足度の向上（顧客の視点）

基本方針

地域で信頼される信用金庫を目指し、お客さまに寄り添い、お客さまの課題を解決するための良質な金融サービスの提供を目指していきます。
そのためには、課題解決を担う人づくりを進め、外部機関と連携しながらお客さまの満足度向上を目指します。
こうした積み重ねで、地域の信頼を得て、地域の発展・成長に貢献していきます。

重点戦略①

人的資本経営の実施による全職員が活躍できる職場の整備

・人的資本への投資強化
・情熱ある企業風土の醸成
・安心して働ける職場環境の整備
・エンゲージメントの向上

重点戦略②

持続的な経営力・組織力の強化

・「金利ある世界」での適正利益の確保
・ガバナンスの強化
・DXによる生産性・効率性の向上
・各種リスクへの対応強化
（マネロン対策、サイバーセキュリティ等）

重点戦略③

地域密着型コンサルティングの実施による「共存同栄」の実現

・地域創生、地域活性化への取組み
・金融仲介機能のさらなる発揮
・ライフステージに応じた支援強化
・営業推進体制および職員個々の営業力の強化

重点戦略のビジョン

盛岡信用金庫

人的資本経営の実施による全職員が活躍できる職場の整備

・人的資本への計画的な投資と、挑戦と協働を促す企業風土の醸成
・働きやすさの確保を通じて、エンゲージメントを高めることで、人材の活躍を促進
・職員一人ひとりのスキル、経験、価値観、多様性を戦略的資源として最大限活用

地域社会・お客さまへ価値の提供

持続的な経営力・組織力の強化

・収益力の向上とともに、業務効率化や生産性の向上通じて持続的な利益創出が可能な経営構造への転換
・内部統制やリスク管理を強化し信頼性の高い経営基盤の確立
・地域社会・お客さまから選ばれ続ける金融機関を目指して

地域密着型コンサルティングの実施による「共存同栄」の実現

・経営課題の解決支援、創業支援、事業承継支援、デジタル化支援など多面的なソリューションの提供
・金融・非金融サービスを組み合わせた課題解決型アプローチの推進
・地域価値向上に貢献するパートナーとしての役割をより一層強化

盛岡信用金庫

重点戦略①人的資本経営の実施による全職員が活躍できる職場の整備

（１）人的資本への投資強化

（２）情熱ある企業風土の醸成

（３）安心して働ける職場環境の整備

（４）エンゲージメントの向上

盛岡信用金庫

重点戦略②持続的な経営力・組織力の強化

（１）「金利ある世界」での適正利益の確保

（２）ガバナンスの強化

（３）DXによる生産性・効率性の向上

（４）各種リスクへの対応強化（マネロン対策、サイバーセキュリティ等）

盛岡信用金庫

重点戦略③地域密着型コンサルティングの実施による「共存同栄」の実現

（１）地域創生、地域活性化への取組み

（２）金融仲介機能のさらなる発揮

（３）ライフステージに応じた支援強化

（４）営業推進体制および職員個々の営業力の強化